

かかしのまちのミニ・マガジン

月刊

Monthly Local Magazine : Kominoyama

かみのやま

第296号 2025年12月



「上山城」からのたより 冬 第197便
上 山 城

わが町再見『藤井松平』(7) 松平信行 2
鎌 上 宏

◆連載◆ ふるさとへの便り 83
武 田 幹 雄

連載エッセイ 四 祖父とバイオリン
橘 千 枝

読者からの便り 皆様に感謝を込めて
大 田 垣 徹

わが述懐 思えば遠く來たもんだ (14)
中 野 尚

民謡雑感 =第23回全国高等学校総合文化祭
桜 井 和 敏

◆連載◆ 四国遍路こぼれ話 (15)
大 貫 和 春

ぶらぶらスケッチ日記 第10回
竹 内 敏 夫

連載隨想 「お別れのことば」あれこれ
佐 藤 藤三郎

表紙のことば・木村輝子：21頁

「月刊かみのやま」からのお知らせ：23頁

●月刊かみのやま巻頭企画

「上山城」からのたより 初秋・第197号

【常設展示室から】

抽選で景品が当たる「クイズ上山城探検」を毎月実施中。

クイズを解きつつ、ご見学をお楽しみください。

上山城では初レース開催九十周年を記念し、企画展「上山競馬関係資料展」を開催しています（会期は今月七日迄でした）が、来年一月十二日まで延長決定！。その企画展において、「これは貴重だ！」と思った品を数点、筆者の独断と偏見をもとに紹介します。

【画像①】恐らく現存する「最古」の上



「上ノ山競馬場入場券（個人寄贈）」

紙に、誰にも見えるよう衣服にぶら下げるための紐がついている、まるで山形県を代表する果物「サクランボ」のような形状となっています。裏には使用年月日を示すと思われる「8.5.21」という、昭和八年？or昭和二十一年？と



「上ノ山競馬場入場券（個人寄贈）」

昭和10年代の上山競馬場で使われていた神経過敏な馬の頭に被せたマ

ンコ（個人所蔵）

負っていたということでしょう。

塔の役目もなく走る広告

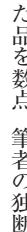
当時の騎手は馬を操るだけでも

ます。

いかがだったでしょうか？企画展ではこれ以外にも推定「最古」なものが多く展示されておりますので、この機会に上山競馬の歴史をご堪能いただければ幸いです。みなさんのお越しを心よりお待ちしております。

上山城では初レース開催九十周年を記念し、企画展「上山競馬関係資料展」を開催しています（会期は今月七日迄でした）が、来年一月十二日まで延長決定！。その企画展において、「これは貴重だ！」と思った品を数点、筆者の独断と偏見をもとに紹介します。

【画像②】恐らく現存する「最古」の上



「上ノ山競馬場入場券（個人寄贈）」

これを被れば、他の馬が跳ね上げた飛来物が直接顔に当たるのを防ぐことができるので外部の音を遮断できる作りになっています。あと、プロレスの覆面レースみたいに、馬の個性を引き出すアイテムの一つだつたりもしたと思います。

上山競馬の痕跡

（公財）上山城郷土資料館学芸員

長南伸治

内科・循環器内科・腎臓内科・皮膚科・人工透析内科

長岡医院

NAGAOKA
院長 櫻井清陽 理事長 長岡由女
医師 長岡美里 医師 長岡迪生
内科 診療時間 / 9:00~13:00 14:30~17:30
皮膚科 診療時間 / 14:30~17:30 (火曜日・水曜日・金曜日)
休診日 / 日曜日・祝日・木曜日
上山市沢丁9番13号 TEL.672-0308

泌尿器科・皮膚科

山口クリニック

院長 山口寿功
診療時間：平日 9:00~12:30 14:30~18:00
土曜 9:00~12:30
休診日：日曜・祝日・水曜・土曜午後
上山市四ツ谷1-6-35 TEL677-0050

原田眼科医院

外來受付時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●		
14:00~17:30	●	●	●	●	●			

木曜・土曜 12時まで／休診日：日曜・祝日

上山市十日町9-2
023-672-0008

永田歯科医院

Nagata Dental Clinic

診療時間 AM 9:00 ~ PM 1:00
PM 2:00 ~ PM 6:00
休診日 日曜・祝日・木曜
上山市元城内3-62
672-0215



12月

2025-2026 スキー場オープン！

今シーズンも、ウインターリースポーツや冬のアクティビティをお楽しみください。

■蔵王ライザワールド 12/12(金)予定
TEL.023-679-2311

■蔵王猿倉スキー場 12/19(金)予定
TEL.023-679-2211



(一社)上山市観光物産協会
023(672)0839
<http://kaminoyama-spa.com>

愛車に Make-upを……
钣金・塗装・車検
—承ります—

東北運輸局長認証工場
創業46年 **E** 有限会社遠藤ボデー

〒999-3122 上山市仙石1121-1
TEL 023-672-7185 FAX 023-672-7167

メモリアルホーム鶴脛

各宗・総合葬祭
(株)マルシン葬祭社

寝台車(靈柩)・ワゴン・マイクロバス
上山市久保手4005の10
023-672-4242
F 023-672-4470
E-mail e-taishin@if-n.ne.jp

わが町再見『藤井松平』⑦ 松平信行（2）その出自

（2）徳川、十八松平家のネットワーク

鎌

上

宏

（水岸山観音寺住職）

七代信行侯が、どうして美作国津藩松平康哉侯四男が上山藩の跡取りになつたのかを今回は探つてみます。改めてですが、いくつかの縁筋を辿りそのネットワークを紐解きます。

第一・藤井松平氏のネットワークです。

（二）古く遡つて、藤井松平四代忠国侯の妻は戸田氏鉄の娘、つまり初代信通の祖母は美濃大垣藩初代戸田氏鉄の娘でした。忠国侯は、上山に流謫される前の沢庵宗彭と交流がありました。更に補いますと、信通侯の父五代信之侯の妻は但馬出石藩二代・四代藩主小出吉英の娘でした。小出吉英といいますと上山に流罪になつた沢庵和尚の郷里の領主で、上山から手紙をだした相手です。沢庵が流謫された上山に信通（初代）侯が封じられたことになります。

（二）信通侯の妹、つまり松平信之侯の娘は、美濃大垣藩第四代戸田氏定の正室

となりました。美濃大垣藩戸田家との繋がりは両家の血が入り濃くなりました。

後年になつて大坂加番で「奢侈散財」した信亨侯が路銀借財にすがつた美濃大垣藩主は母系方血筋の遠縁だったのです。

（三）上山三代信将侯は藤井松平家支流の信濃上田藩松平忠隆の四男で、子がなかつた二代長恒の跡を継ぎました。その信将侯の正室は美濃大垣五代戸田氏長の娘でしたが、その正室亡き後の繼室は越前松平家系美作津山藩初代松平信富の娘でした。以上、上山、大垣、美作の三角ネットワークです。

こうした婚儀は幕府の許可なく出来ません（武家諸法度…私に婚姻すべからず）ので、家系をつなぎ合わせたのが松平家のネットワークでした。徳川家を支える「松平」の系譜を差配（縁結び）したのが「老中」でした。

第二・幕閣要の「老中」の差配について

です。

（二）上山初代信通侯は、元禄七（一六九四）年に上山に入部しました。その折に信亨侯が路銀借財にすがつた美濃大垣藩主は父信之侯の後の古河藩主土屋政直でしたが、信之侯亡きあとを長男忠之が継いでいましたが、幕府より詰問され

たか忠之（信通の兄）が「発狂」、封地没収の後にその老中土屋政直が信之侯の次男信通侯の藤井松平家再興、移封先の面倒見たと察せられます。

（二）上山二代長恒侯が子なきままに死去、その後継に三代信将侯が跡を継いで入封享保十七（一七三二）しましたが、藤井松平家支流松平忠周侯（信濃上田藩）が老中を勤めており、お家相続について老中面々への進言があつたと察せられます。

（三）七代信行侯の上山藩家督相続（文化二、一八〇五）時には、実は後の上山藩の支領替えに関わる牧野忠精（越

後長岡藩）、土井利和（下野古河藩）、青山忠裕（丹波篠山）の三老中が当たつていきました。

第三・大坂加番をよく勤めた上山藩は「大坂城代」「大坂加番相番」との関わりがあります。

（一）上山四代信亨の子信古侯が加番一回目（寛政四、一七九二）、二回目（寛政六、一七九四）の折りの大坂城代は牧野忠精（越後長岡藩、後に京都所司代、老中）でした。

（二）「奢侈放蕩」と記された信亨侯ですが、四回目の相番、五回目相番に丹波龟山藩主松平信義（信亨の養女が母）※信愛の養女ではない『御傳記』一一九

p）、後に老中）がいます。また、五代信古侯の第一回加番の折りの相番は美作国勝山藩三浦前次がいます。大坂加番の相番は一年間を通じて加番各詰め屋敷を往来し情報のやりとり、交流、誼が深まつたことでしょう。こうした縁筋と大坂加番中の城代、相番を深掘りすれば、上山藩で多大の「奢侈浪費」で汚名を残した上山四代信亨侯ですが、実は藤井松平家の将来に備えたロビー活動費（接待・進物費）に費やした散財だったと推察することも出来ます。各殿が江戸麻布屋敷滞在中は見知りの藩主へのご機嫌伺い挨拶があつたことでしょう。信亨侯が帰府の折りの借財先が実は縁戚大垣藩戸田侯で

あつたと考えるとネットワークがよく理解できますし、度重なつた歴代上山藩主の加番中の三度の公務災害死に際して、老中は幕府を支えさせる「藤井松平家」への救済措置があつたと考えることができます。

こうして、忠勤の譜代上山藩のお家存続と、また今回の信行侯の美作国津山藩からの跡継ぎであつたことが了解されまます。このネットワークがあつて信行侯の「支領替え」へつながつていくのです。

参考文献：『市史・上』、『市史資料『藤井御伝記』①、『歴代大坂加番者一覧』、『老中一覧』、他。

シニアの方大歓迎！

カラオケ開放 11:00～16:00
持ち込みOK！（酒以外）
歌い放題 お一人様 ¥1,000
◇3人以上でお申し込みください。
◇定休日：月曜日

“熊ラーメン”
おぐにのマタギ

上山市新湯2-19
サガ・ソシアルビル2F
TEL. 090-2950-2791

美咲花咲め
パークリング

かみのやま温泉駅東口
とても便利ですよ !!

タイムズモビリティ
のカーシェアリング
あります。 鳥 鳥
673-1895 [鈴木]

こんな困りごと
ありませんか？

宝石・メガネ・時計
タニ工

上山市石崎2丁目1番33号
023-672-0364
携帯:080-3330-6973

◆連載◆ ふるさとへの便り 第八十三回

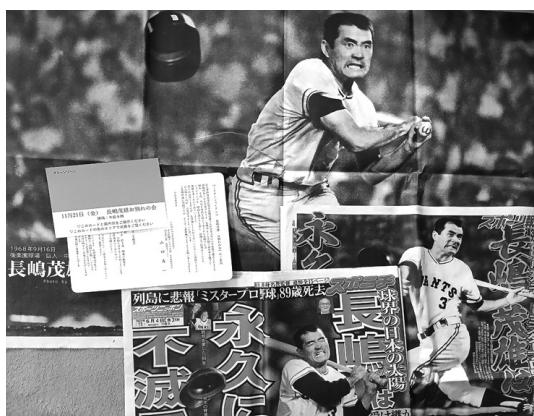
第八十三回

武田幹雄

(上山出身・千葉市在住)

長嶋茂雄さんが亡くなつたのは六月三日。野球ファンにとどまらず日本中が涙にくれた。翌日、ほぼすべてのオールドメディアが一面で報じ、とりわけスポーツ新聞は出来得る限りの紙面を割いた。半年たつても書店の店先には平積みされた追悼本が並び、「長嶋ロス」はまだ続く。それほどのインパクトを持ったニュースだった。二〇二五年の掉尾は長嶋さんの話を書きたい。

過日、所属する団体の理事会が開かれた。プロ野球の取材を生業とした記者の集まりで、現役を離れたOB連である。出席した理事がかわるがわる思い出を話し始める。天真爛漫を絵に描いたような弾ける笑顔と、体がよじれるほどのフルスイングを間近に見て、心を驚づかみにさせた。



れ、虜になつた面々の話である。「長嶋さんの目は吸い込まれるように青かつた」と会長が口火を切れば「自主トレ」という習慣は長嶋が始めたんだ」と長老が受けた話は尽きない。記録を辿るのは本意ではないが、長嶋が誕生してから三十一年で、もう一つ。十七年間で出場試合数を上回るヒットを打った。長いプロ野球の歴史でもほんの数人しかいない大記録である。

長嶋さんは数多くの「迷言」を残しているが、気に入っているエピソードを、米国キャンプ。子供が遊んでいるのを見て、こう言つたそうだ。「こつちの子供は英語がうまいねえ」真顔でそう言われたら、返す言葉がない。何しろ「失敗は成功のマザー」なのだ。その長嶋さんは八〇年、Aクラス

人に知れないように積む徳だから「陰徳」と言うんですよ」

スを確保しながら監督を解任された。二度目の監督に就任するまでの浪人中、欧米各国を漫遊し多くの美術館を訪れている。だから絵画には特に造詣が深かった。長嶋さんの隠された一面だが、野球人としても多くの影響を受けたのが昭和の思想家、哲学者の安岡正篤だった。その話を件の理事会で後輩の記者が披露した。遠征先の広島で散歩中、ファンに囲まれる長嶋さんがいたそうだ。街中でサインすることはあまりないことだ。「練習もそうですがファンサービスも人前ではなく、こういう何気ないところで行なうことが大事。

陰徳あれば必ず陽報（良い報い）ありという教え。政財界にも多くの信奉者がいた安岡に長嶋さんは何を学んだのか。後輩記者は亡くなつた翌日の紙面で安岡の言葉を引いていた。「富士山は立派だが、それより立派なのは大地だ。万山を乗せて一向に重しとしない。常に平々坦々。この大地こそ本当の徳である」長嶋さんは「鍛錬」と言う言葉を好んで使つたが、配球を読んで打つのは二流、来た球を打つのが長嶋流。その極意を得

るために「鍛錬」だ。「長嶋茂雄を続けるのは大変なんですよ。エッヘッヘー」富士山を支える大地ほどの陰徳を積んだのだろう。

生涯をベースボールと巨人軍に捧げた長嶋さんに、日本野球機構はその功績を讃え「長嶋茂雄賞」創設を発表。それを待つていてよう巨人軍は十一月二十一日、東京ドームで「お別れの会」を開いた。長嶋さん、あなたはやつぱり「永久に不滅」ですね。合掌。

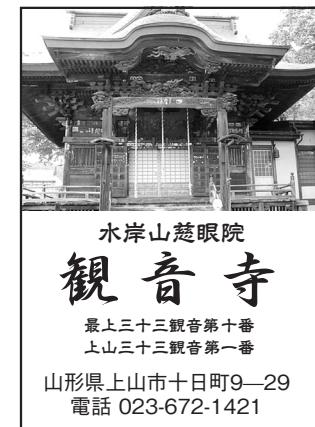
昭和の本箱 まちライブリー
がっこう
みんなの楽校のご案内
開催日が変わりました。
◆第8限時(今年度最終)のご案内
ドイツで暮らして…
お話 小野皓一さん(画家)
12月14日(日)午後1:30より
受講料:通常オーダーのみ
先着15名となります。 Wi-Fi P 3台
上山市八日町(青山医院の北)
詳細は…けやきの家まで
080-1394-5853

第59回茂吉忌合同歌会
開催:2026/2/22(日)
投稿締切:2026/1/16必着
※詳細はお問合せください
**特別展 斎藤茂吉とふるさと
-みちのく界隈-**
会期:2026/3/31まで
※詳細お問合せください
休館日:水曜日、12/28~1/3
斎藤茂吉記念館 北町字弁天
672-7227

参加者募集!上山城体験教室
①天体望遠鏡作り 12月13日(土)
②クリスマスリース作り 12月20日(土)
③正月飾りと凧作り 12月27日(土)
■時間 13:00~15:00
■定員 全て5名(予約制・先着順)
■料金 上山城入館料
(他に①500円、②③300円)
★会場・問合:上山城TEL73-3660
お問い合わせ(担当 長南)
上山城
上山市元城内 023-673-3660

祖父とバイオリン！？

橋 千枝
(エッセイスト)



私の祖父は愛助という。その父親が卯之松、弟が才治や留吉というのに比べたら自分だけずいぶんハイカラな名前ではないか。幼かつた私の記憶に残っている祖父は、二つの場面だけ。一つは、囲炉裏端につくねんと座つてスイカを食べている姿。スイカだから夏なのだろうけど、厚い着物を着ていたような気がする。もう一つは、亡くなつて葬儀の時に横たわつている姿。話をした記憶はない。一介の百姓として、嘗々と田畠を耕して一生を終えた人だと思い込んでいた。

ところが先日、分家の当主から興味深い話を聞いた。祖父は若い頃、東京上野にあった岩倉鉄道学校に進学したというのだ。それは上山出身の鉄道技術者・羽島金三郎氏からの「これから手が出るほど欲しい時代だつたため、試験などしなくて良いから、すぐになつてくれ」という話が来たそうなのだ。

それなのに、なんと「働く必要がないから行かない」と断つたそくなつて、それなら何故、学校に行つたのか？ 東京に行きたかっただけ？ 働く必要がない？ 意味わかんない！ と思う私は、いろいろ考えてみた。当時は田畠が今よりたくさんあつたらしく、農作業に忙しかつたからか？ ところが田畠は、分家の父親である弟に任せつけなしで、自分はバイオリンを弾いていたとか。

それはいつ頃の話なのだろう。祖父は明治二十二年生まれ。四十二歳で妻に先立たれてから後妻も貰わず、残された一人息子の私の父を上の学校まで入れ、一人前になつたのを見届けてから亡くなつた。単なる遊び人とは思えない。囲炉裏と井戸と竈のある茅葺き屋根の、ごく普通の家で暮らしていながら、戦争中も食べ物には困らなかつたと聞く。世の中が高度経済成長期に



なる前の価値観では、食べる物さえ作つていれば「豊かに」暮らせたのだ。「足るを知る」ということが「働く必要がない」という意味なのかもしれない。

もつとも、この話は分家の当主が自分の父親から聞いた話であつて、どこまで本当かもわからない。土蔵の奥から壊れたバイオリンでも出してくれれば信じられるのだが。今なら、あの囲炉裏端に座つていた祖父に聞いてみたいたことがたくさんある。今の価値観では計れないことを教えてくれるだろ

う。逆に「あのね、じいちゃん。せっかく学校で習つて覚えたことは、きちんと社會に還元しなくちゃだめだよ」なんて説教しそうだけど。

記憶の中の祖父は、まだ七十代前半だったはずなのに、もう立派な老人だつた。あの老人にも青春があり、バイオリンを弾いていた時分があると思うと、もはや今の自分も、若い人にはそう見えているのだろうか。人は、生まれた時代を懸命に生きるしかない

と改めて思う。

**吉井内科胃腸科
クリニック**

診療時間【木曜日休診】
月・火・水・金・土
A.M. 8:30 - 12:00
P.M. 2:00 - 6:00
但し、土曜日の診療は4:00迄

院長 吉井英一
023-673-7515
上山市金生東一丁目10-15

**七五三写真
後撮キャンペーン!**
12月撮影2,000円
合計金額より割引!
各種証明写真承り中!

高橋写真館
SINCE 1888 TAKAHASHI PHOTO STUDIO
TEL 023-672-0541 完全予約制
営業時間 9:00~18:00(日祭日17:00)
mail: info@takahashi-photo.net
上山市十日町8-5 定休日:火曜日

かみのやま温泉の皆さまに感謝を込めて

大田垣 徹
(埼玉県在住)

はじめまして。夕方のお忙しい時間に失礼いたします。
埼玉県川口市在住の、太田垣 徹と申します。

私事で大変恐縮ですが、上山市には「上山競馬」の観戦で初めてお伺いさせていただきました。

残念ながら「上山競馬」は廃止になってしましましたが、桜の季節や「かかし祭り」、「かせどり」の時に合わせて、今も年に1、2回はお邪魔させていただいております。

最近は、かみのやま温泉駅に到着しますと先ず「上山市觀光物産協会」様にお伺いして一息つき、『月刊かみのやま』の最新号を頂きます。その時の気分にあわせて觀光物産協会様の快適な室内で読ませていただいたり、市内を散策しながら足湯に浸かってのんびりと読ませていただくのがルーティンになっています。

10月号で、2026年4月号(300号)が終刊号となる旨のお知らせを拝見し、ショックを受けました。当たり前のようにあるものと思っていた『月刊かみのやま』が、もう

すぐ読むことが出来なくなってしまうのかと思うと、本当に寂しい気持ちで一杯です。

『月刊かみのやま』を読んで、上山市の歴史や文化に触れることができました。

「連載」は、執筆者の皆さまの熱い想いが伝わってきて、とても楽しいです。「蟹仙洞写真館」の写真を見て、昔のかみのやまに思いを馳せました。

私にとっての『月刊かみのやま』は、「かみのやま」のことを探り、理解するための『教科書』であり、大切な道標です。これから、バックナンバーもじっくり読み返したいと思っております。

ただの旅行者に過ぎない私は、『月刊かみのやま』の終刊はとても大きな衝撃でした。
上山市にお住まいの皆さまの、ご落胆は如何ばかりかとお察しいたします。

かみのやま温泉は、私はもちろん、家族との大切な想い出が一杯詰まった場所でもあります。

『300号記念・原稿募集のお知らせ』という機会をいただき、乱筆乱文で大変お恥ずかしい限りですが、『月刊かみのやま』編集部の皆さま、そしていつも温かく迎えてくださる、かみのやま温泉の皆さまに感謝を込めて寄稿させていただきます。
(とても大袈裟な言い方になつて申し訳ございません。どうかお許しください・・・)
(確かに原稿をお預かり致しましたー編集部)



長いメールになりました。
て、大変失礼いたしました。
お忙しい中を最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。

令和7年11月19日

太田垣 徹

ナチュラルベーシックが好き



ソフィア
SOPHIA
tel&fax. 023-673-0517
上山市南町2-7

泡エステで10歳、若返りませんか！

ムース♥デコ



♡ニキビ・美白・
吹き出物 リフトアップ
♡毛穴の黒ずみ
♡シミ・小じわ♡手の荒れ
♡アトピーなど 特許取得
原点に戻った新発想
他店にはないメニュー！

アライ美容院
ご予約:673-3002



すばら

すばら亭

上山市金生東二丁目
023-673-3103

わが述懐・思えば遠く来たもんだ (14)

中野尚
(東京在住 上山市出身)

「青春」という文字を書いて「横線」の多いことのみ何故か気になつた。昭和四十五年、四十六年、大学の一般教養課程で埼玉の熊谷に二年間住みました。第二の故郷です。上州の空つ風(乾風)、熊谷盆地の「夏暑いぜ、日本一」四十一、九℃の炎暑。冬酷寒。二十歳の原点を過ごした熊谷が堪らなく好きです。懐かしい光景に再会するためタイムスリップしてみました。一年時は大学の熊谷寮に住み、二年時はアパートを借りて住みました。一年の時は朝夕二食付、ご飯味噌汁お代わりし放題。高校の時体重五十五キロ、寮に入つて一举に七十キロに変貌。昼は学食。二年の時は昼は変わらず学食、夜はバイト先の賄付、朝はパンを食べていましたが、流石米が食べたくて、キンカ堂デパート、八木橋デパートに。麦は売っていましたが、当時米は売つていませんでした。米は米屋さんでしか扱っていない、手間にあります。学生証を見せ、米の通帳を作り、買う時は通帳を持参。田舎にいるときは当り前のようにお米を食べ、こっちに来て一人になつて、様々なことに出会い考え方遣つてゆくことを覚えました。当時はスーパードラッグストア、

コンビニ、百円ショッピングの無かつた時代。消費税、パソコン、コンピューター、ネット、セコムも何もなかつたアナログな時代。当時の物価、サンヨー食品のみつ豆缶三缶百円。文庫本類一冊百円位、自由国民社「現代用語の基礎知識」一冊七百五十円、学食、かけそば、かけうどん三十円、ラーメン類四十円、カレーライス七十円、日替わり定食百円、飲物セブンアップ二十円、煙草わかば三十円、エコ一五十円、ショートホープ五十円、ハイライト八十円、セブンスター2百円、まだマイルドセブンの無かつた頃。自給バイト二百四十円、半日バイト七百五十円、一日日当バイト千五百円、その時代。

昼夜は学校、夜は近くのホルモン焼数奇店(すきだな、仮名)でバイト。合間に贋写版ガリ刷自費出版生活。夜バイトでの話。マスターは青森出身の十歳年上の人菅井さん(仮称)、店舗付き住宅で一階は店、二階にマスターと奥さん。三歳の息子さんが住んでいて、店は連日藩情。マスターと自分で切り盛り。開店四時から閉店十一時まで賄い付き。毎日ご飯も肉もたらふく食べていました。仕事が終わ

るとマスターいつも店の酒をご馳走してくれました。お陰で食べることも飲むことも困りませんでした。仕事は接客、皿洗い、飯炊き、豚汁つくり、酒の用意。カウンター十人席、三つのテーブル、奥に小さなお座敷。埼玉は沖縄と同じく「豚肉王国」。七輪金網でホルモンを焼きたれをつけ食す。マスター「計算が面倒臭い」と言つて、一人前百グラムすべて百円に。タン(舌)ハツ(心臓)ガツ(胃袋)カシラ(頭)レバー(肝臓)子袋(子宮)モツ(小腸大腸)他。酎ハイ九十円、コーラハイ、日本酒冷、熱燶百円、生ビール、瓶ビール百五十円、ライス、自家製キムチ四十円、お新香、豚汁三十円(カシラ肉にネギのみじん切り大量味噌出し自分の担当)。まだ酒の種類の少なかつた時代。マスターは僕のことを「中ちやん」と呼んでいて、

時折マスターに同行西武バスに乗つて東松山にある牛豚鳥肉卸売り市場に仕入れに。レバー(肝臓)モツ(小腸大腸)の塊一キロ五十円、こんなに仕入れ安いんだと驚きました。それが一流職人のマスターの腕で百グラム一人前百円に。飛ぶように売れてもマスターは「店は大きくもないし小さくもない、これが一番難しい」と言つていました。

ある日、店に行くとマスター不在。準備をしているとマスターが帰つて来て、その姿がボロボロ着のホームレスの様、ますたー「今、税部署に行つてきた。税務署に行く時はわざとボロボロ着で金が無い貧しさ哀れさをみせるようにしているんだ」と言つっていました。

流石、マスターは役者。

いも煮
2~3人前
(6コ入り)
¥6,600
(税込)

地元
「上山」の
お土産に!!

丸松物産株式会社
山形工場 上山市新北浦3番地
TEL 023-673-5511
<http://www.marumatsu-mb.co.jp>

手づくり洋食を
ご家族連れでどうぞ



レストラン
駅東口より徒歩5分

イビサ 023-673-3034
営業時間11:30~21:00 定休日(木曜日)
(日・祝)11:30~21:00

ご商談・ご宴会に
二階宴会場をご利用下さい



石臼挽きそば 割り子そば
みつひろ

上山市新湯6-34
TEL. 672-3815

民謡雑感

II 第23回全国高等学校総合文化祭／開会行事での思い出

櫻井和敏
(上山市出身・山形在住)

前号では本大会の開会式・式典後の日本音楽部門の演奏について述べましたが、平成十二年の七月三十日(金)の午後から総合開会式での式典と交歓会が山形市総合スポーツセンターで開催されたのです。諸外国からの高校生による特別参加発表の後、山形県内の各高校生たちによる演劇、器楽演奏、合唱などで歓迎の交歓・交流と続きました。

実はこの交歓会に『最上川舟唄』を取り上げたいと大会本部からの要請があったのです。その当時は民謡番組もラジオやテレビ番組でも定期的に放送されておりました。山形テレビの『クボタ民謡お国めぐり』は毎週土曜日七時から三十分番組が好評で、子供さんが出演すると特に注目されました。高校生が民謡で活躍し評判になっている女子生徒がいるのは本部も掴んでいたようで、その唄い手は日本大学山形高校一年生の斎藤里奈さんなのです。彼女は小学生の頃から子供コンクールでも優勝した経歴

を持つていました。ところで尺八伴奏する高校生が県内にいるかどうか調べて欲しいと本部から私に連絡が入りました。四月の中半のことです。大会まであと三ヶ月しかありません。しかし、県内の各民謡会や知己を通じて伺つたが皆無でした。山形県民謡と言えば全国でも知れ渡つている『最上川舟唄』ですから何としてでも彼女を出演させたいと本部からの要請です。禁じ手かも知れませんが、私が「影マイク」で伴奏する方法は不可能でした。私が勤務している上山明新館高校の生徒に尺八伴奏を教えられないかという無理な難題を押し付けられたのです。『首振り三年尺八年』とは言いますが、あの難しく融通が利かない尺八は音を正確に出すまでおよそ三年、演奏が人並みに出来るまで最低でも八年を要すると言われます。それをたった三ヶ月後に伴奏などできるものでしようか……? 本校の兼子正克校長は『吹奏楽部の生徒に教えてみたらどうだろうか。やつて

みんなと分からぬだらう』と、無理を押して吹奏楽部の顧問蛸井朗教諭に相談を持ち掛けました。「音を出すくらいなら出来るかも知れないが……と首をかしげる。その二日後、トランペットを吹く三人の男子生徒を私に紹介してくれました。その生徒たちは尺八といふ樂器は知つても誰も吹いたことが無いその後で振動させる部分)が無いのでただ息を吹き込んだりネットと異なり、リード(息を吹き込んでも音が出せないことを理解したようです。でも彼らは諦めないで懸命に尺八のノウハウを獲得したのです。

その後はまるで奇跡が起つたような上達ぶりを發揮したのです。六月末には何とか演奏の形が整いました。大会まで一ヶ月に迫つた或る日の事、本部で音合わせを行いました。しか

し、課題は唄い手のキー(尺八の寸法)がどの尺八を用いるかなのです。幸いにも練習で使つた一尺八寸と伺っていたのです。安心。音合わせも三十分位で無事終了しました。そしていよいよ大会当日がやつて來たのです。

○演奏曲……【最上川舟唄】
○唄い手……斎藤里奈

(日本大学山形高校一年生)
○振り付け……五十幡夏織
(山形北女子高校)
○尺八伴奏……遠藤彰(上山明新館高校)
○……鈴木世樹(上山明新館高校)
○……佐藤大智(上山明新館高校)



斎藤里奈 右
邦楽部男性3人

と卒業してゆく教え子たちが数多いるのを勿体ないとつくづく回想するこの頃です。





◆おかげさまで売れてます!

ねんにゅんシリーズ

「猫の手マドレーヌ」「わんわんドーナツ」「じっぽフィナンシェ」

上山城登り口 ⑥六七二一〇一六九

十玉屋本店

協賛していただける
スポンサー様を募集
しております。

文化的に潤いのある故郷
づくりに、少しでも寄与出来
たらという願いをこめて、
2001年5月号より発行し
続けております。

ご協賛頂けたら幸甚です。

ご連絡は

電話 090-3363-5978
FAX. 023-673-2023迄

ソフトクリーム
コーヒー
ヨーグルト

悪い酪農家

山川牧場

(有)蔵王マウンテンファーム
山形県上山市永野2191-23
TEL・FAX 023-679-2150

連載 四国遍路こぼれ話 第十五回

大貫和春
(上山市観光ボランティア)

「四国遍路こぼれ話」を終了するにあた

り、お遍路に関して出版されている数多くの書籍の中で、私がお遍路の実行にあたつて参考にした書籍2冊と、結願後に読んで感銘を受けた書籍4冊を紹介します。

- 参考にした書籍
- へんろみち保存協会編『四国遍路ひとり歩き同行二人』



で、「解説編」と「地図編」があります。私は「地図編」だけ購入し、お遍路の最中ずっと持ち歩きました。「地図編」は札所近辺だけでなく、札所間の地図も詳細に掲載されています。また、宿泊施設も網羅されており、私はこの書に掲載されたリストから民宿や宿坊を選びま

した。

・平幡良雄著『四国へんろ』

平幡良雄氏は大正大学大学院仏教学科を卒業後、得度修行しま

した。その後40年近く巡礼に専心し、この間同行した人はのべ10万人に達した、と略歴にありました。

88カ所すべての札所の縁起、ご本尊、歴史上の事件などについて紹介しています。お遍路実行前に一通り目を通し、おおよその予備知識を頭に入れて巡りました。また「四国遍路こぼれ話」執筆にあたつても再度読み返し参考にしました。歴史書としても優れた書籍だと思います。

2. 感銘を受けた書籍

・川崎一洋著『四国八十八カ所遍路』

川崎一洋氏は高野山大学大学院を終了後、高野山大学で非常勤講師を勤めながら、第28番大日寺の副住職をしておられる方です。多くの人にお四国参りをしていただくための案内記として執筆しました、とあとがきにありました。88カ所すべての札所について縁起、ご本尊、ご詠歌、境内の様子などを分かりやすく紹介しています。

写真は本堂か山門のどちらか1点ですべての写真がモノクロなのは驚きでした。初めてお遍路をしてみようと考えている人に最適な入門書かと思います。所々に「神仏習合」「仏さまの種類」「七觀音」といった仏教に関する豆知識も盛り込まれ、読み易い構成になっています。



・石川文洋著『四国八十八カ所私の遍路旅』石川文洋氏は戦場カメラマンです。ベトナムやカンボジアでジャーナリストとして活動しました。戦場で亡くなつたジャーナリストや民間人の慰靈が大きな目的とありました。

川崎一洋氏の著書と異なり、各札所の紹介は最小限にとどめ、遍路旅で出会った人々に焦点をあてています。遍路道の傍らで農作業をする人、朝市で地元の特産物を売る人などに声をかけ、地元の人々との交流を楽しんでいるのが印象的でした。また、遊びに興じる子どもたちの写真も多く

掲載し、平和な日本を喜んでいるようにも感じました。コラムでは戦場で亡くなつた数人のジャーナリストに触れ、思い出を書いています。そのひとりが澤田教一氏です。彼は川を泳いで逃げる母子の写真「安全への挑戦」でピューリツァー賞を受賞しましたが、4年後カンボジアで亡くなり

影されたことの記憶はなく、「米軍の攻撃がとても恐ろしかったことだけを覚えている」と話したとのことです。石川氏はベトナム戦争では米軍と行動を共にしました。基地では陽気な兵士が戦場では人が変わってしまう、と戦争の恐ろしさを語っています。近年軍備の増強が叫ばれ、敵基地攻撃能力があるミサイルを配備する動きが加速しています。抑止力強化の果てに核兵器を保有することにならないか不安です。※残りの2冊、三好和義著『空海と歩く四国遍路』と黛まだか著『奇跡の四国遍路』は次号で紹介します。

**デジタル補聴器
耳掛型
“無料試聴
貸出”中!**

耳あな型
片耳価格
138,000円
ボリュームコントロール付
248,000円(両耳・非課税)
TEL.023-672-0207

いなげ花店

上山市矢来一丁目3-18
(かみのやま温泉駅前)
駅前本店 TEL.672-0157
FAX.672-6760
ヤマザワ店 TEL.673-1343

くだものうつわ

各種ご贈答にも最適

上山市金瓶水上6-2
Phone: 023-672-5861

ぶらぶらスケッチ日記

（私の読書遍歴、再び『大地』を読む）

竹内敏夫

（上山市在住）

読書は私の大事な趣味ですが、小説を読むようになったのは同じ年ごろの子より遅かったのかもしれません。

小学生までは漫画ばかりで、男の子向け漫画は「少年」「漫画王」「少年ブック」などあり、私の愛読したのは「少年画報」でした。武内つなよしの「赤胴鉢之助」「桑田次郎の『月光仮面』などは、今でも似顔絵を描く自信があるくらいです。

小説に出会ったキッカケは中学生になつて間もない頃、クラスでひとり元気のいい渡辺友洋（ともひろ）君が、「夏目漱石の『坊ちゃん』が凄く面白かった」と、自慢し「夏目漱石の小説を読んだことがあるか？」とみんなでいました。

既に六十年以上も経ちましたが、「また読んでみよう」という気持ちになつたので図書館から借りてきて、いま読んでいる最中です。細い活字の本で貞数が八百十六頁ありました。一部「大地」、二部「息子たち」、三部が「分裂した家」で、二度目なのにまるで初めて読む本のようです。

三部のうちまだ一部を読み終えた処ですが自分の年齢が主人公・王龍が死ぬ年齢を超えてます。中学生の時は精々あらすじを辿つただけのようで、

に言つたのです。私は内心ハッとしています。

子供向けの物語は読んでいたが、文学小説は別世界の存在でしたし、そもそも「ナツメ・ソウスケ」というのもよく知らなかつたのです。（ああ、みんなが知つて、オレは知らないのだ……）と、恥ずかしくなりました。（これじゃダメだ。オレも小説本を読まねば……）と思ったのを鮮明に覚えています。

これが良かったのです。以後本を読み始め、サッと頭に浮かんだものを羅列すると、坊ちゃん・大地・羅生門・罪と罰・愛と死を見つめて、嵐が丘・誰がために鐘は鳴る・高瀬舟・洋君の勧めで中学二年の夏休みに頑張つて読みました。貧農の主人公・王龍（ワン・ルン）が大地主になる物語でしたが、ぶ厚い三冊の大変な長編で、登場人物が次々と登場し後編までくると混乱して、とにかく長編小説を読み切つた」という、自己満足しただけの読書だったようです。

串田孫一隨想集・アンネの日記・静かなドンなどがあります。（実際はもうあるはずですが）

パールバッックの「大地」は初めて読んだ長編小説です。やはり渡辺友



いま同じ本を前にして二つの自分を観た思いがして、不思議な気持ちになりました。

これ迄、ほかに読んだ長編小説は、高校の夏休みにショーロホフの「静かな冬」を読みました。ロシア革命を背景にした長編小説です。そして、社会になつて独身時代に読んだドストエフスキイの「罪と罰」が

一番印象深い本です。主人公の青年ラスコーリニクスが金貸しの老婆を殺して、ビルの階段を駆け下りて逃走する場面が忘れられません。ドキドキして一気に読みました。

その頃レタリングに夢中になつていて、ポスター（写真）に描きました。そこでポスター（写真）に描きました。罪を背負った青年の苦しい心のうちを、何とか表そうと悶々として仕上げたシンプルな絵ですが、あれこれ試行錯誤の末この絵になりました。今でいう読書感想画です。

大切な家族の一員
だつたペットの
供養をいたします



納骨供養料
15,000円（納骨料・供養料）

葬儀のご相談も
承ります

※毎年9月の動物愛護
週間中の土・日に
供養会を行います

ほうらいいん
蓬莱院
上山市小穴42番地
TEL 023-673-2909

ワイヤーカット加工による金型部品加工
金型・治工具設計製作

有限会社
山上企画

〒999-3122 上山市仙石1263番地5号
TEL. (023) 673-1114 FAX. (023) 673-1115

有限会社
大崎金型

〒981-3604 宮城県黒川郡大衡村駒場字彦右衛門橋3-162
TEL. (022) 345-5378 FAX. (022) 345-5378



19

「お別れのことば」あれこれ

佐藤 藤三郎
(著述業 農業)

「コロナ」が流行し始めたのは令和二年のときであった。それの思いが強く残っているのはその前年、すなわち令和元年六月十五日、娘が逝ったからだ。

その時に息子が「あと一年経つていればあの葬儀が出来なかつたね」といつたことばが頭に残つてゐるからである。コロナで大騒ぎになつてから「葬儀は近親者で」となつた。だから「弔辞」が収まつた今もそのようになつてゐる。だから「弔辞」がなくなつてゐる。全然ではないが殆んどなくなつた。でも高畠町の有機農業の教祖ともいわれてゐる星寛治さんの葬儀では珍しいほど多くの弔辭があつた。けれど「近親者で」となるとそれの奉読者がいなくなつた。

それでは大事な親との別れなのに気がすまないらしく私に「弔辞を」といつってきた。

弔辭となればその仏の功績などを褒めたり称えたりして、残された夫、または妻、さらには子どもたちを励ましたり慰めたりするものである。事実以上に褒めたたえたりすることもある。だから自分の姉にそうしたことについての返事をしなかつた。

しかし、その甥の気持が気になつた。それでその夜はなかなか眠りに入れなかつた。それで思いついたのは「弔辞」ではなくて「お別れのことば」とすれば、と思ひが浮かんだ。その翌日つまり葬儀の日それを行なう前にそのことを甥に話すと、「それでよい」ぜひお願ひする」と言うのだった。弔辭となれば文章を書いてそれを読みそれを仏壇に供えるのが常である。文章にしないで、ことばだけで言う人もいるけれど、私は文字にして弔うのが本望だと思つてゐる。しかし、その時にはそんな時間も無かつたし、毛筆では書くことが出来ない。パソコンも打てない。だから弔辞というのではなく、「お別れのことば」とすればそれの必要がない。声で話せばよい。そんなことも考えたのだった。

ところがそれが意外にもその甥には受けがよく、更には葬儀に参列された方も感を深く聞いてくれたらしかつた。その後その姉の次の姉も九十五歳で亡くなつた。するとその姉の長男も、あのときのあのお別れのことばのようないい「お別れのことばを述べてくれ」というのだった。それから二年が過ぎ、今年の（令和七年）十月二十六日にその二人の真ん中の姉が九十九歳で亡くなつた。

それでまたその甥が「お別れのことば」をといふのである。

九十九歳にもなつてゐたので、私は笑ひながらそれを引き受けた。そして、そのことばの最後に、その姉が誰に学んだのか教えを受けたのか分らないが、イギリスの国歌をよくうたうのだった。三人いる子どもたち夫婦が米寿の祝を催してくれたときにもそれをうたつた。

それを私は忘れずにいた。それでそのイギリスの国歌最

後に歌い「最期の別れのことば」とした。それを歌い終わると私は向きを変えて和尚さんに頭を下げたあと和尚さんの顔をみると、和尚さんは涙をみせなかつたが、いかにもしんみりとした顔をしていた。いや意外のような、さらには私の顔を見て「この男何なんだろう」とおもつてゐるような目付きで私の顔に視線を向けておられた。火葬は葬儀のあとだつた。葬儀と骨拾いの間には一時間

ほどの時間があつた。その間昼食がありその場が近親者の懇談の時間となつた。そのなかで幾人の方から私に「お別れのことば」についての御礼というよりも感想のことばがあつた。そのなかに「母はイギリスの国歌をよく歌うのだった」という話もあつた。

私の兄妹はまだ私より三歳上の姉と下に二人の妹がある。全部で九人であつたのだがまだ四人いる。一番下の妹がもう八十五歳だ。だから次に誰が逝くかわからない。もしか「オレ」になるかも知れない。だからみんなにお別れのことばをいえるかは分らない。

それでも兄妹同士で「お別れのことば」を言い合う

なんてこれまで私には見たりも聞いたりもなかつた。がその姉の子どもたちには意外に喜ばれたのがとても嬉しいかった。

表紙のことば 冬日和と絵具 木村輝子

小春日和を堪能し冬を迎えたが、また出番とばかり冬日和となつた。

美しく輝く蔵王を眺めながら、ふと思い出した。或る骨董商から古びた瓶に入った二つの絵具を買った。

財布を空にして手に入れた群青色。そのうち使う日が来ると思って購入したのだが、二十数年も経つて塗ができるとは、我ながら感慨深いものがある。



《三〇〇号記念・原稿募集のお知らせ》

二〇〇一年五月一日創刊第一号刊行以来「月刊かみのやま」は三〇〇号（終刊号）まであと四号となりました。これまで二十四年間刊行を継続してこられたのも、執筆者・スポンサー各位・読者諸氏の温かいお支えがあったこそであり、心より謹んで感謝申し上げます。

つきましては、来る三月末に刊行（四月号）を予定しております、節目の三〇〇号（終刊号）へ広く皆様からの原稿を募ります。

エッセイ・詩や短歌・俳句・回想・郷土史にまつわる話等々、テーマは自由で、字数は一、二〇〇字相当、ただし原稿料は無しとさせて頂きます。頁数の関係でご寄稿頂いた原稿すべてを掲載することはおそらく困難と思われますので、応募が多い場合は編集部にて取捨選択をさせて戴きます。予めご了承戴けますようよろしくお願ひ致します。

原稿締切を二〇二五年十二月二十日とさせていただきます。

宛先① Eメール : info@syoshi-sai.com

メール添付の場合、「月刊かみのやま寄稿」と書き添えて下さい。（出来るだけメールでの寄稿を希望します）

宛先② 郵送 : 〒九九九一三一四五 上山市河崎二一一四一一十三
(有)スタジオ・ワン 記念号係 宛

かみのやま 温泉駅東口
蟹仙洞 ●
1F 美容室 シュシュ
2F 成蹊学習塾
ゲオ
ツルハ ●
抗がん剤治療で
お悩みの
あなたへ
医療用ウィッグの
購入支援及び
助成金が受けられます。
美容室 Chou chou シュシュ
<http://chouchou6736030.blog.fc2.com>
上山市矢来4-8-1 ☎673-6030

小さな力で、大きな力
ラベルパワー SHINWA LABEL
東京駅 5分、家族経営の温かな料理店

上山中学校昭和40年度卒業
上山小学校昭和37年度卒業
さて、誰でしょう?
変な頭が特徴です。
〒99-3104 上山市蔵王の森10番地
TEL (023) 672-7577
中央区日本橋2-2-15 日本橋ティートビル2階
☎03-3274-1797 上京の折、ぜひご来店ください。

栗川稻荷神社
上山市松山二一一五二鎮座
社務所 ☎03(671)3510
由緒沿革
栗川稻荷神社は備中國庭瀬の城主
松平信通公が城中守護神として奉祠
され厚く信仰されてきたお社であります。
元禄十九年九月出羽国上山に国替を命ぜられ、その後松平家の守護神として城内に社殿を造り固い信仰を持ったのであります。
大政奉還の後は現在地の松山高台に勧請鎮座を致し、年を重ねる毎に県内はもちろん県外よりの多くの参拝者を迎えるようになりました。

月刊『かみのやま』第296号 発行日 2025年12月1日
編集・制作/有限会社スタジオ・ワン 発行/上山を元気にする会
〒999-3145上山市河崎2-4-23 ☎090-3363-5978 FAX:023-673-2023
発行人/阿部檀 編集人/岩井哲 題字/故木村藏六 編集協力/鎌上宏

メンマの名付け親
丸裕物産株式会社
山形工場 山形県上山市新北浦3番地 TEL:023-673-5511
東京本社 東京都世田谷区代田1-47-2 TEL:03-3419-1611
<http://www.marumatsu-mb.co.jp>



こんにやく番所

懐石料理 お土産 カフェ
ギフトも承っております



公式HP

橋下宿 舟野こんにやく

〒999-3224
山形県上山市皆沢諏訪前608-1
TEL 023-674-2351
FAX 023-674-2515

<http://www.tannokonnyaku.co.jp>

なつかしい和 (なごみ) の空間

かみのやま温泉葉山 美月亭
さいかてい

時代屋
じだいや

☎ (023) 672-2451
<http://saikatei-jidaiya.jp>

上山温泉・葉山

名月荘
MEIGETUSOU

〒999-3242 上山市葉山5-50
TEL. 023-672-0330(代表)
フリーダイヤル 0120-72-0330

月岡城址の宿

山形県かみのやま温泉



山形県 かみのやま温泉

● 仙溪園月岡ホテル

〒999-3141 山形県上山市新湯1-33
TEL.023-672-1212㈹

かみのやま温泉 葉山

はたごの心
橋本屋

電話 023-672-0295
FAX 023-672-0425
ホームページ <http://www.hashimotoya.com>